

第3回「ぐるりんこ京北」ワークショップ 要旨

- 1 日時 平成23年9月29日（木）
- 2 場所 京北合同庁舎3階 3-2会議室

3 内容

(1) はじめに

今回の内容

- ・ イベントの内容（コース、内容、役割分担、実行委員会）を固める
- ・ イベントで使用する仮マップの概要を決定する
- ・ イベントをどうやって本マップにつなげていくのか検討する

(2) イベント内容検討

ア コースについて

(ア) 参加者に安全に走行してもらうために

- ・ コースでは、人が立つところと看板のみ設置するところを検討する。
矢印を分かりやすくすることで効率的な人員配置が行えるのではないかな。
コースの分岐点に人員の配置が必要。
- ・ コースを複数設定しているので、コースごとに看板を色分けし、案内する人にも参加者にも分かりやすくするために、参加者に色分けした腕章等を付けてもらえばよいのではないかな。

(イ) 魅力的なコースにするために

- ・ イベントは、京北らしい風景、集落の中を走る。
- ・ あくまで推奨コースということにして、参加者の判断で別の道も走ってよいということにすれば、決まったコースだけでなくいろいろなサンプルを集められる（例 オプションで井戸峠越え）。

イ お土産について

地元の特産品を中心に「ウッディー京北」に提案していただく。

ウ その他

- ・ 参加者以外の地元の方も参加できる坐禅体験や元体操選手によるウォーミングアップについて花園大学から提案。
- ・ さんりょうでの参加者の受け入れのために、スタート時間をずらす必要があるのではないかな（コースにより時間差で到着する？）。
- ・ さんりょうでの京北鍋のふるまいは、参加費用に含まれている。
- ・ さんりょうでの大根引きは健脚コースに参加している人には不向きかもしれない（費用は参加費に含まれている。）。

- ・ 参加者には、各コースを当日までに案内し、希望を把握する。
- ・ 駐車場は200台近くのスペースを確保する必要がある（京北合同庁舎160台、京北ふれあいセンター40台）。

(3) イベントの実施体制について

- ア 必要な人員配置，役割分担について
- イ 集客方法について

「ウッディー京北」で申込用紙を置かせていただき，受付もお願いしている。

(4) サイクルマップについて

- ア 作成の視点 ～今回の参加者にリピーターになってもらうために～

- ・ 京北のことを知ってもらうために，春や夏の情報も記入する。
イベント時だけのもの，恒常的なもの見分けがつくようにする。
- ・ 「ウッディー京北」から南側の見所をもっと盛り込むべき。
- ・ ビュースポットも記載する。

（例 「ウッディー京北」から魚ヶ淵の間に栗尾峠を眺められる場所）

- イ 掲載すべきもの

- ・ トイレ
- ・ 休憩所
- ・ 給水所
- ・ 本部の連絡先
- ・ 食事処（本マップには，広告料等の支援を掲載の基準にしては？）

(5) リピーターになってもらう仕掛け

次回につながるようなスタンプラリーを行ってみれば。

（例 年間5回来た人には記念品，参加者にお店の割引等のメリット）